みんなの図書館

休館日のお知らせ

※灰色の部分が休館日です
※●で囲んである部分がバス運行日です

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	●20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

問 豊頃町図書館☎（579）5802

新しい図書館職員を紹介します

山田良則館長

4月1日から新たに図書館長となりました山田です。私自身子どもの頃からマンガを含めてあまり本を読むほうではなかったため、図書館にはなかなか足が向いておりませんでしたが、私のような方にも図書館に親しみを持っていただき、最低でも1年に1回は図書館に来ていただけるように何かできればと考えております。せっかく図書館長になりましたので、私自身も本に親しむ時間を作りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

石田奈緒美事務員

4月から図書館に勤務しています石田奈緒美です。まだわからないことばかりですが、早く仕事を覚え、地域の皆さまが気軽に何度でも足を運びたくなるような図書館づくりのお役に立てるよう頑張っていこうと思っています。図書館には様々な分野の本がそろっています。ぜひ、お気に入りの1冊を見つけにご来館ください。これからどうぞよろしくお願いします。

休館のお知らせ

期間
6月9日（火）～13日（土）

図書館特別整理のため、上記の期間は図書館が休館になります。図書特別整理はどの図書館でも年に1度必ず行うもので、図書館および図書館バスの全ての本や資料を点検・整理します。期間中に本を返却される方は、える夢館正面玄関の右側にある「ブックポスト」をご利用ください。

古本の無料配布を行います

絵本や小説などを無料配布します。お気に入りの本をお持ち帰りください。
※雑誌の無料配布は行いません

5月7日（木）～31日（日）

図書館ナビ

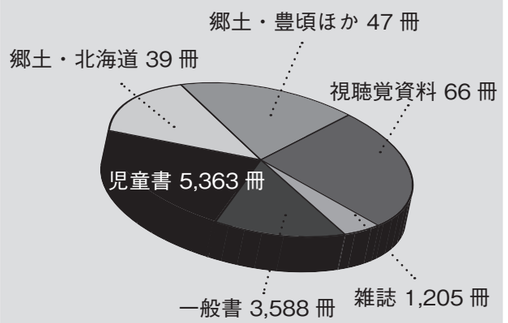
令和元年度の本の冊数と貸出の冊数をみてみましょう

分類別の貸出冊数について

令和元年度における図書館・図書館バスの貸出利用者数は2,656人（前年比74.7％）、総貸出冊数は、10,308冊（前年比89.9％）となり、町民一人当たり3.29冊（前年度3.61冊）が貸し出されました。

図書館・図書館バスにおける来館者数は4,237人（前年比73.9％）で、開館日数（276日）における一日平均数は15.4人と前年度（22.1人）に比べて6.7人減となりました。

貸出冊数



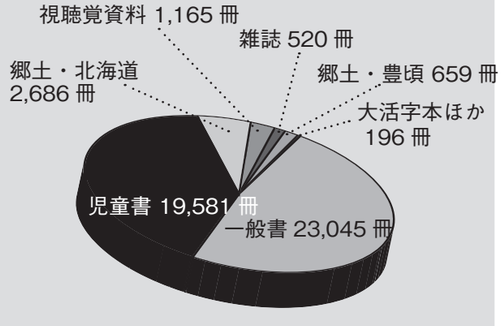
令和元年度における

「蔵書冊数と貸出統計」

今回は令和元年度（R2.3.31現在）における図書館の蔵書冊数と貸出統計を取りまとめましたので掲載します。

当図書館の蔵書冊数は前年度に比べ、1,409冊増の47,852冊（前年比104.2％）となっています。内訳は、一般書23,046冊（前年比101.8％）、児童書は19,581冊（前年比103.2％）、郷土資料（豊頃・北海道関係）は3,345冊（前年比100.9％）などとなっています。

蔵書区分別冊数



今年も図書館に動物がやってきました。
この足跡は誰の足跡かな…？
何匹いるかさがしてみましょう。

新刊案内

一般書

おにぎりの本

／辰巳出版

いつでも気軽に食べられるおにぎり。おにぎりには、握った人の愛情がつまっていますよね。そんなおにぎりのアレンジレシピが盛りだくさん載っています。あなたはどんなおにぎりが食べたいですか。

なぜかうまくいく人のすごい無意識　／梯谷幸司
あるある！笑いと涙のケアマネ劇場　／中央法規
庭遊びの達人が教える野外DIY実践術　／脇野修平
山小屋ガールの癒されない日々　／吉玉サキ

◆小　説◆

まずはこれ食べて　／原田ひ香
桃源　／黒川博行
針と糸　／小川糸
十三階の血　／吉川英梨

児童書

１００円たんけん

／岡本よしひろ

お母さんと買い物に行った男の子。１００円で何が買えるのか興味を持ち、お母さんと商店街を探検することに…。「１００円分ください」と言ったらお店の人はどうするでしょう？

47都道府県 本当にあった怖い話　／久田樹生
有毒！注意！危険植物大図鑑　／あかね書房
ぽくたちのだんご山会議　／おおぎやなぎちか

◆絵　本◆

あさくさかな　／加藤休ミ
かぜのでんわ　／いもとようこ
ふみきりかんかんくん　／武田美穂
いただきますレストラン　／ひだのかな代

上記は新刊図書の一部です。
予約やリクエストも受け付けていますので、お気軽にお問合せください。

今月の展示

5月13日にある「メイストームデー（5月の嵐の日）」をご存知ですか？

バレンタインデーから88日目の5月13日は別れ話をしても良い日、もしくは適切な日とされているようです。

また、「八十八夜の別れ霜」という言葉の由来でもあるそうですね。そこで今回は、あらゆる「別れ」についての本を揃えてみました。